2026 年度 JICA 教育研修（カンボジア補完研修）を実施しました

日程： 2026 年 11 月 5 日～11 月 11 日

場所： カンボジア王国・プノンペン

参加者： 日下部達哉センター長、吉田和浩教授、孟暁東研究員、研修員 17 名

➢ **国際教育開発パートナーとの政策対話・ワークショップ（11 月 10 日・11 日）**

11 月 10 日及び 11 日には、吉田和浩教授の進行のもと、教育政策の立案及び実施をテーマとする二つのワークショップが開催された。教育政策立案に関するワークショップには、国連児童基金（UNICEF）の教育専門家及びアジア開発銀行（ADB）の社会セクター担当主任専門官が参加した。教育政策上の優先課題の設定、エビデンスに基づく意思決定、多様なステークホルダーの参画及び関係機関との協議プロセスなどについて、活発な議論が行われた。



11 月 11 日の教育政策実施に関するワークショップには、UNICEF カンボジア事務所の教育部門代表、NGO 教育パートナーシップ（NEP）のチーフマネージャー及び世界銀行の教育専門家が参加した。教育政策の実施における関係機関間の連携体制、教育現場における実施上の課題及びこれまでの実践から得られた教訓などについて、意見交換が行われた。一連のワークショップを通じて、研修員は、教育政策の立案から実施に至るプロセスについて多角的な視点から理解を深めるとともに、教育開発における国際開発パートナーの役割や関係機関間の連携の重要性について学んだ。

➢ **修了式及び研修成果（11 月 11 日）**



11 月 11 日午後には、研修の修了式が開催された。吉田和浩教授による補完研修の成果報告、JICA カンボジア事務所の代表者による挨拶に続き、カンボジア教育・青年・スポーツ省のオウン・ボラット閣下（Secretary of State）から祝辞が述べられた。その後、研修員への修了証書の授与が行われ、日下部達哉センター長からは、研修の実施に尽力した関係機関に対して感謝状が贈呈された。

学習成果の総括セッションでは、研修員が日本及びカンボジアにおける約 1 か月間の研修を振り返り、得られた知識や経験、自国の教育開発への応用可能性について意見を共有した。多くの研修員からは、異なる社会的・経済的・制度的背景を有する日本とカンボジアの教育政策や実践を学ぶことが、自国の教育課題を捉え直す貴重な機会となったとの感想が寄せられた。特に、限られた教育資源のもとで教育の質の向上を図るための工夫や、自国の実情に即した教育イノベーションの必要性について認識を深めたことが、研修成果として挙げられた。

本補完研修は、本邦研修で得られた知識や経験を異なる教育開発の文脈において捉え直し、自国の教育課題の解決に向けた実践的な知見を深める、実り多い学びの機会となった。最後に、本研修の実施にご協力いただいたカンボジア教育・青年・スポーツ省、JICA カンボジア事務所、カンボジア国立教育研究所をはじめ、関係機関及び関係者の皆様に心より感謝申し上げたい。